



テレワーク普及推進に係る現状報告

令和8年6月30日（火）



デコ活の全体像（脱炭素につながる将来の豊かな暮らしの絵姿）

2030年代にかけ、**生活がより豊かに、より自分らしく快適・健康**で、そして2030年温室効果ガス削減目標も同時に達成する「新しい豊かな暮らし」を提案をしています。



- 住[外]** 住宅の省エネ化・再エネ導入 (断熱化、太陽光発電 等)
- 住[内]** エコグッズの選択 (LED、家電、給湯器、節水機器、HEMS 等)
- 衣** クールビズ・ウォームビズ、サステナブルファッションの実践
- 買・食** 地産地消、適量購入・食べきりごみの削減・分別
- 職** テレワークの実践
- 移** 電動車の購入
環境負荷がより少ない移動手段の選択
- 基盤** 情報 (教育・ナッジ) インセンティブ

※新しい暮らしの根拠や数値のバックデータは、<https://ondankataisaku.env.go.jp/dekokatsu/>から確認を。

テレワークの普及啓発

- ・脱炭素に貢献する取組「デコ活アクション」の一つとしてテレワークを発信し、脱炭素以外のメリットも併せて提示
- ・デコ活ホームページにおいて、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを支える取組、製品・サービスの情報を掲載

デコ活アクションの一つとして「テレワークを推進」

デコ活アクション まずはここから

- デ 電気も省エネ 断熱住宅
- コ こだわる楽しさ エコグッズ
- カ 感謝の心 食べ残しゼロ
- ツ つながるオフィス テレワーク

脱炭素に資する取組、製品・サービス

デジタルも駆使して、多様で快適な働き方、暮らし方を後押し（テレワーク、地方移住、ワーケーションなど）



1

脱炭素につながる新たな暮らしを支える製品・サービスを提供・提案



2

インセンティブ や効果的な情報発信（気づき、ナッジ）を通じた行動変容の後押し（消費者からの発信も含め）



3

地域 独自の（気候、文化等に応じた）暮らし方の提案、支援



4

ポータル登録数:700件
（デジタル関係:95件、
製品・サービス:331件、
インセンティブ:204件、
地域:70件※重複有）
令和8年6月5日時点



つながるオフィス テレワーク

テレワークとは、ICT(情報通信技術)を活用し時間や場所にとらわれない働き方のこと。
移動時間の削減により、通勤の疲労を減らし、余暇時間を増やします。

また、転職をせずに地方移住ができたり、育児や介護中でも働けるなど、多様な働き方・ワークライフバランスも実現します。

テレワークのメリット

身体にやさしい	家計にやさしい	地球にやさしい
通勤時間の削減	節約額	CO2削減量
約275時間/年	61,267(円/年)	840(kg-CO2)

CO2削減量、節約額、削減される通勤時間は、『脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後』の関連資料より。

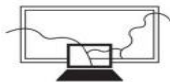
新宿御苑コワーキングスペース

- ・ 2024年10月より、新宿御苑でコワーキングスペースの運営を開始
- ・ 累計3,920人が利用（令和8年5月31日時点）



作業室

30分単位で予約可能:400円／30min
5時間以上の利用は4,000円が上限



新宿御苑
コワーキングスペース
Shinjuku Gyoen Coworking Space



会議室

30分単位で予約可能:1,500円／30min
6時間以上の利用は18,000円が上限

営業時間 Business Hours

10/1 - 3/14	9:30 - 16:00
3/15 - 9/30	9:30 - 17:30
7/1 - 8/20	9:30 - 18:30



中央休憩所
すぐ横

Right next
to the central rest area